

新たな価値を、
新たな発想から。

 岡山大鵬薬品株式会社

www.okayama-taiho.co.jp

 岡山大鵬薬品株式会社



新たな「価値」創出へのチャレンジは止まらない。



代表取締役社長

片山 峰伸

TOP MESSAGE

岡山大鵬は、昔からよく知られている、サリチル酸メチルを有効成分とする水性タイプのシップ剤の製造・販売で、国内トップクラスのシェアを誇ってきました。それゆえに外用剤を得意とする製薬メーカーとして知られているかと思います。岡山大鵬の前身を含めると実に70年以上にわたってシップ剤やステロイド剤などの外用剤を提供し続けてきました。一方、2017年からは新たなコア事業として、オンコロジー（腫瘍学）領域を主体とするオーソライズドジェネリック（AG）事業に参入いたしました。現在、当社親会社であり、経口抗がん剤のパイオニアである、大鵬薬品工業株式会社の許諾を受けて、同社製品のAGである還元型葉酸製剤（ホリナート錠25mg「タイホウ」）、代謝拮抗剤（エスワンタイホウ®配合OD錠T20、同T25）の製造・販売を行っています。従来、外用剤をメインとする製薬メーカーがオンコロジー領域に取り組むことはあまりありませんでした。しかし、私たちはあえてそこに踏み込みました。AGを通して、医師への情報提供や副作用情報の収集を含め、先発品と同様に、患者さんが安心して使える製品を、それも安定的に提供し続けることは社会貢献に他ならないと考えたからです。そうして実質的に日本初となるオンコロジー領域のAGを世に出すことができました。同事業に圧倒的な専門性と品質が求められることは言うまでもありませんが、効率性を重視しながらそれを実現できたことは、挑戦し続ける企業として

の誇りであると自負しています。

さらに、2020年からは製造受託事業を開始。大鵬薬品の主力商品のひとつ「チオビタ®・ドリンク」をはじめとする、100mLのドリンク剤を当社で製造することとなりました。これも私たちが製薬メーカーとして培ってきた高い品質力と効率的な生産能力がみなさまに認められ、信頼されたから実現したことだと思っております。

数十年にわたり外用剤を専門としてきた私たちには、そのDNAがしっかりと刻み込まれています。私たちが得意とする外用剤と親会社が得意とするオンコロジー領域、これらをコンビネーションさせた製品の開発ができるのも私たちの大きなアドバンテージであると言えるでしょう。

今、私たちは、私たちにしかできないユニークなビジネスモデルの開発に続々と着手しています。私たちに新薬を提供することは難しいかもしれませんが、既に世の中にあるものの視点を変えてリポジショニングすることや、未だ知られていない価値を新たにリディスカバリーして人びとの健康に貢献することはできます。そして、そのようなチャレンジこそは、私たちがもっとも強みとしているところなのです。それが当社そして大鵬グループの企業理念にある、人びとの「満ち足りた笑顔」につながればという思いで、私たちは新たな可能性に挑戦し続けていきます。

企業理念

私たちは人びとの健康を高め
満ち足りた笑顔あふれる
社会づくりに貢献します。

岡山大鵬薬品株式会社は、めまぐるしく変化する21世紀のなか、「私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会づくりに貢献します。」の企業理念のもと、社会に貢献する活力のある企業を目指し、創造性とチャレンジ精神で未来を先取りし、積極的に行動します。



私たちに刻みこまれたDNA。

岡山大鵬は、実に70年以上にわたって外用剤の研究開発、既存製品の改良に努めてきました。鎮痛消炎シップ剤や外用副腎皮質ホルモン剤であるステロイド剤こそは、私たちのDNAと言っても過言ではありません。患者さんのニーズに合わせ、さまざまなタイプの外用剤を開発。あらゆるタイプを永くご提供し続けることで臨床の現場に貢献しています。

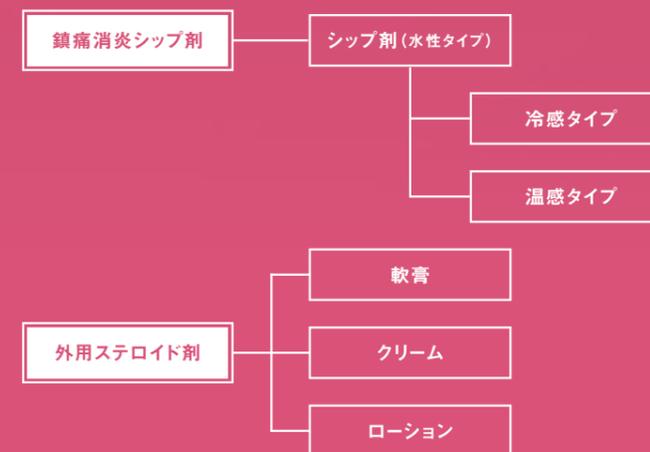


シップ剤、外用ステロイド剤における多彩なバリエーション展開

岡山大鵬は、その前身にあたる心泉医薬が設立された1943年以来、外用剤領域において、主に鎮痛消炎シップ剤（MS冷・温シップ「タイホウ」など）と外用ステロイド剤（メサデルム®軟膏・クリーム・ローション0.1%など）を開発し、臨床の現場に供給してきました。わけても水性タイプのシップ剤は国内トップクラスのシェアを誇ります。第1世代とも呼ばれるこのシップ剤は、安価で使いやすく、永年にわたり多くの人々に愛用され続けています。一方、海外では水性タイプのシップ剤が流通していない国も多くあり、当社製剤の「心地よい貼りごち」の価値を広げるべくグローバル展開にも挑戦しています。岡山大鵬はまた、外用ステロイド剤の開発にも永く関わってきました。患部や皮膚の状態に合わせて使用できるよう、

軟膏、クリーム、ローションの3つの剤形を揃えています。このような岡山大鵬が培ってきた外用剤のノウハウや強みを最大限に活かすため、大鵬薬品とのコンビネーションによる製品の販売、新たな製品の開発にも着手しています。われわれの製品を必要とする人がいる限り、責任をもって製品を提供し続けること。同時にその本質を見極め、「新しい価値」を提案すること。それこそは、岡山大鵬のチャレンジ精神に他なりません。

患者さんのニーズに合わせさまざまなタイプを網羅



価値ある製品を、いつまでも。

岡山大鵬は、2017年より大鵬薬品の還元型葉酸製剤「ユーゼル[®]錠」、
ならびに代謝拮抗剤「ティーエスワン[®]」のオーソライズドジェネリック(AG)の製造・販売を行っています。
永き将来にわたって、患者さんには優れた製品を安定的に、また、医療機関のみなさまには
有益な製品情報のご提供や副作用情報の収集をし続けることこそが
私たちの使命であると考えています。

オンコロジー領域における永年のノウハウを大鵬グループとして共有

1999年に大鵬薬品が発売した「ティーエスワン[®]」(テガフルール・ギメラシル・オテラシルカリウム配合剤)は、これまでに多くの患者さんを支えてきた経口抗がん剤です。当社はこの「ティーエスワン[®]」を、永きにわたって、より多くの方々にお使いいただけるよう、オーソライズドジェネリック(AG)の発売を決定。大鵬薬品の許諾を得て、「エスワンタイホウ[®]配合OD錠T20、同T25」として2017年より製造・販売を行っています。

当社AGは、有効成分である原薬のみならず、添加剤、製造方法、さらにはその製造サイトまでもが先発品と同一である製剤です。また、AGは先発品の特許が切れる前から販売が可能であるため、より早く患者さんのお手元に届けられることができるメリットを有しております。

「エスワンタイホウ[®]」は、先発品の「ティーエスワン[®]」と同様、オンコロジー領域を専門とする当社MRと大鵬薬品MRが共に協力しながら、医師をはじめとする医療関係者様にアクセスし、情報のご提供、副作用情報の収集をしています。「ティーエスワン[®]」は、永年使われてきたオンコロジー領域のエッセンシャルドラッグのひとつです。それは、誰もが安心して、いつまでも使えるものでなくてはならないと、岡山大鵬は考えています。

オンコロジー領域のAGに欠かせない6つの要素



岡山大鵬は、大鵬薬品との協働により、誰もが安心して使える抗がん剤のAGを提供しています。

OTC 医薬品事業

「私たちにしか できないこと。」

岡山大鵬は、OTC 医薬品の開発にも注力しています。
そこにあるのは自由な発想力。
私たちが培ってきた独自のノウハウをベースに、
これまでになかったユニークな商品を世に出すことを
日々夢んでいます。



効き目を塗り込む新感覚の温感クリーム商品を開発

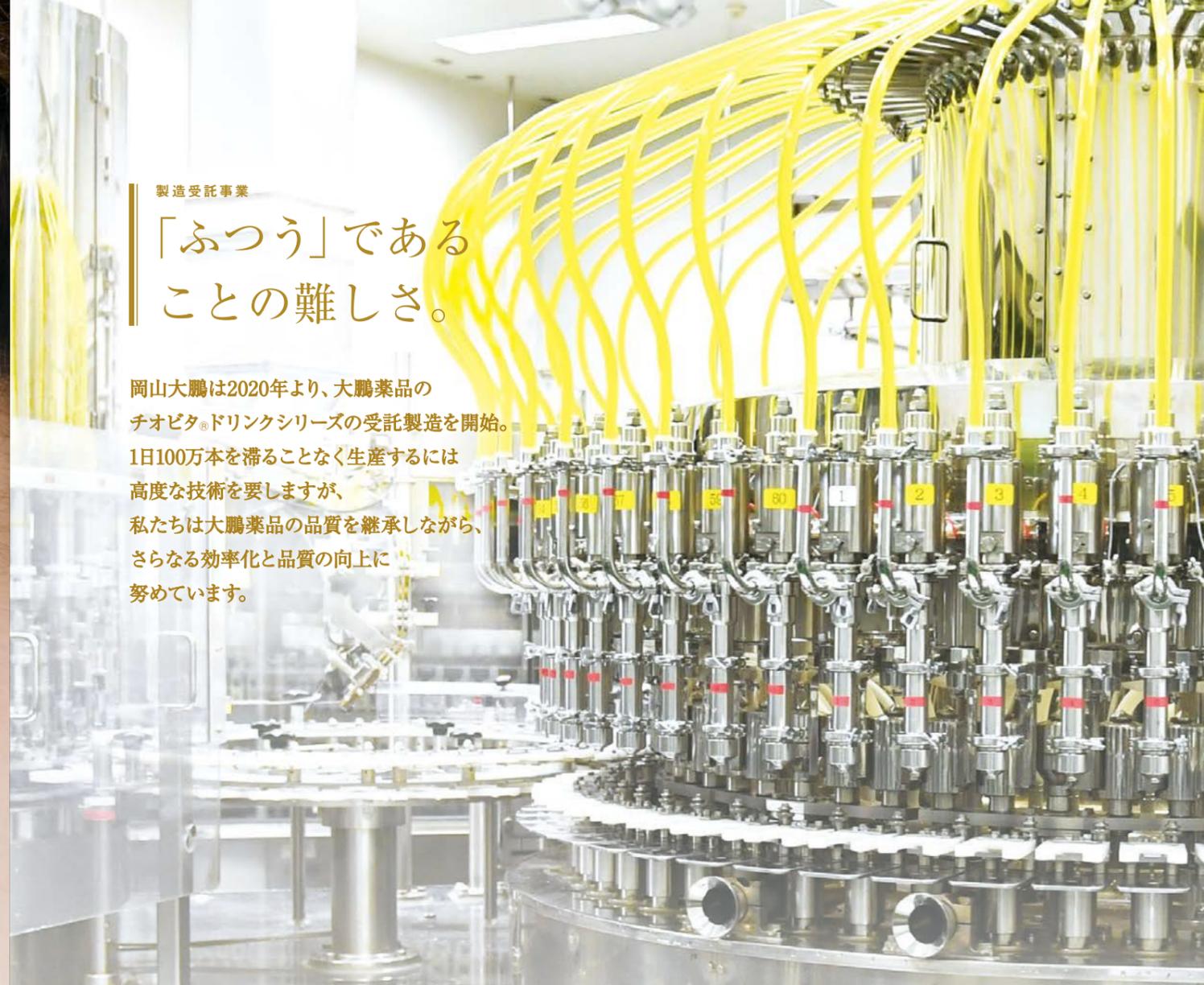
1932年から永きにわたって肩こりや腰痛の助けとなってきたニチバンの「ロイヒ」ブランドの最新商品「ロイヒ™クリームフェルビ」は、岡山大鵬とニチバンの共同開発商品です。3つのステンレスボールにより直接患部に温感タイプのクリーム剤を塗り込むという、これまでにない斬新な商品です。また、女性の声を反映して生まれた使い切りサイズのステロイド剤「ピュアクイックS軟膏」(大鵬薬品)も、岡山大鵬が製造するOTC 医薬品です。ありそうでなかったOTC 医薬品——岡山大鵬は、このように既存の薬剤に新たな視点を加えることで、まったく新しい価値を見出すことにチャレンジしています。



製造受託事業

「ふつう」である ことの難しさ。

岡山大鵬は2020年より、大鵬薬品のチオビタ®ドリンクシリーズの受託製造を開始。1日100万本を滞ることなく生産するには高度な技術を要しますが、私たちは大鵬薬品の品質を継承しながら、さらなる効率化と品質の向上に努めています。



高い技術力と徹底した効率化により、安定供給に貢献

岡山大鵬では、これまでも大手製薬メーカー様のシッフ剤やステロイド剤の受託製造を行ってきました。そして、2020年からはチオビタ®ドリンク(100mL)シリーズの受託製造を開始。「チオビタ®・ドリンク」を主力とした同シリーズの年間販売量は約1.7億本*を誇ります。この生産を一手に担ってきた大鵬薬品岡山工場より製造を受け継ぐことになりました。それは、岡山大鵬が日産100万本以上を滞りなく生産するためのハイレベルな技術を有し、医薬品メーカーとして製品の品質を確保できるからだけではありません。岡山大鵬が永年培ってきた外用剤製造受託事業の実績もその実現に大きく貢献しています。岡山大鵬は今後、このような製造受託を核となる事業のひとつとして育て、そのノウハウを提供することで、提携先

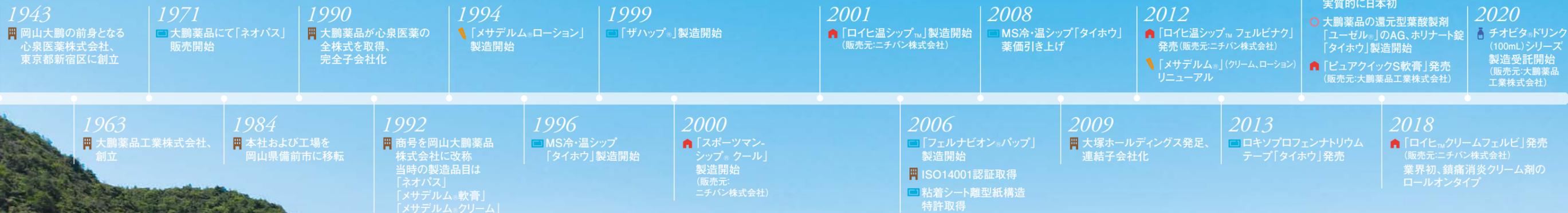
企業様の事業の効率化とスマート化に貢献できればと考えています。

※2018年12月現在



OKAYAMA TAIHO HISTORY

🏠 会社関係
📦 シップ剤
👉 ステロイド剤
🏠 OTC医薬品
📦 AG
📦 製造受託



1943、1971、1996 シップ剤の起源は「泥状パップ」に遡ります。その後、泥状の薬効成分を布に塗り伸ばしたシップ剤が昭和初期に誕生したとされています。心泉医薬は、この泥状パップを進化させた初期の成形シップ剤を製造していました。岡山大鵬がトップクラスのシェアを誇る現在のMSシップは、この心泉医薬のシップ剤の流れをくんでいます。

2000 岡山大鵬では、2000年にニチバンより発売された「スポーツマン・シップ®クール」など、多くのOTC医薬品も手がけてきました。シップ剤やステロイド剤を中心に、一般家庭のみならず健康にお役立ていただいています。

2012 外用ステロイド剤「メサデルム®」において、クリームへのべたつき感の改善、刺激感の低減、より使いやすい容器への変更、新たな容量の追加など、容器を含めた製剤の抜本的リニューアルを実施しました。これにより、患者さんの使用感、医師のニーズを向上させたほか、生産性向上も図りました。

2017 2017年からはオンコロジー領域のAG事業に参入し、還元型葉酸製剤、代謝拮抗剤の製造・販売も開始しました。岡山大鵬は大鵬グループの一員として、AG事業を通じ、誰もが安心して抗がん剤治療を受けられる社会づくりに貢献していきます。

2020 2020年からは、外用剤、AGに次ぐ、第3の事業の柱として、製造受託事業を開始。栄養ドリンクの製造は初めてのことでありますが、製薬メーカーとして培ってきた高度な技術と徹底した効率化により、提携先企業のコストの低減と業務のスマート化に貢献します。

OKAYAMA TAIHO SPIRITS

誰もやったことのないことをやってみよう——岡山大鵬は、小さい会社ながらもそんなスピリッツに溢れた会社です。

40年前の薬で世界を目指す

MS(サリチル酸メチル)シップは第1世代とも呼ばれる、シップ剤としては比較的初期に開発された歴史ある製剤です。近年、NSAIDs(非ステロイド性抗炎症薬)をはじめとする新しい薬剤も登場したため、現在は発売当初の生産量こそありませんが、私たちはこの製品の良さを何とか次代にも引き継ぎたいと、海外展開にチャレンジしています。とある国では「なんだ、この冷たさは!」と驚きの声をいただきました。その国には油性テープ剤はあっても、含水量の高いシップ剤はなかったのです。視点を変えれば、古いものも新しくなる。私たちは今持てる資産を大切にしながら、その価値を再発見することで、ユニークな製品開発に取り組んでいます。



誰もが安心して使える薬を

MSシップには「冷たい」という以外の価値も隠されています。それは「安心して使える」ということです。MSシップには長い歴史があります。数十年にわたる使用実績と積み重ねられた情報から示される安全性がMSシップにはあります。私たちは、MSシップの効能・効果のみならず、その裏付けられた安全性ゆえ、多くの患者さんにご利用いただける薬剤であることをもっと広く知らしめる責務があると考えています。

抗がん剤治療のQOL向上のために

通常、外用剤を主体とする製薬メーカーががん診療の拠点病院にアクセスすることはあまりありません。しかし、オンコロジー領域のAGを持つ私たちにはその機会があります。そこで、オンコロジー領域に特化した外用剤の開発も推進しています。例えば、抗がん剤治療による皮膚障害を緩和する外用剤があれば、副作用をコントロールでき、患者さんのQOLを大きく向上させることができます。私たちは外用剤を、従来あまり検討してこなかったオンコロジー領域と積極的にコラボレートさせることで、医療現場における多様なニーズを満たしていきたいと考えています。

自分たちで設計したハイブリッドライン

岡山大鵬には、われわれが誇る、非常に小規模な検査・包装自動化ラインがあります。工場の敷地が広くないということもありますが、その最大の狙いは「効率化」にあります。この生産ラインでは、3種類の容器が製造されています。共通化できることはすべて共通ラインとし、3つの生産ラインを立体的に構築。それらを組み合わせたハイブリッドラインとなっています。これまで多くのオペレーターにより稼働してきましたが、現在では、2名での稼働が可能となりました。また、工場内の検査・包装ラインの見通しはよく、加えて作業動線が短いため、効率的な作業が行えるというメリットもあります。さらに、このラインの新設にあたっては、岡山大鵬の社員が自ら設計に携わり、生産効率性の向上とともに建設コストを大きく低減しながらユニークな新ラインを作り上げることができました。やりたいことがあれば、自分たちの知恵やアイデアで成し遂げる——それが岡山大鵬スピリッツです。



岡山大鵬のCSR活動

岡山大鵬は、大塚グループのCSRビジョンのもと、生命関連企業としての知識・経験を生かし、社内外でさまざまな取り組みを行っています。

環境・地域貢献活動

岡山大鵬は、瀬戸内海国立公園に隣接する自然環境に恵まれた岡山県備前市久々井の地で操業しています。この美しい自然を次の世代、その次の世代までそのままに残すため、周辺の自然環境に配慮したさまざまな環境活動を行ってきました。「岡山」の地名を冠した会社として、地元・岡山とのつながりを重視し、具体的な行動をとっています。

環境負荷の低減に向けて

2017年のCO₂排出量削減の取り組みとして、ボイラー燃料をA重油から天然ガスに転換したことにより、ボイラーからの排出量を約25%削減することができました。また、2018年からは、ISO14001 2004年版を2015年版に規格変更しました。利害関係者の見直しやリスク・機会の抽出により、環境改善への取り組みの範囲を広くしたため、2018年の環境目標は、取引企業へのEHS監査の導入や運送業務委託先企業のトラックからのCO₂削減など、今までにはなかった取り組みにまで及んでいます。私たちは、自社製品のライフサイクルを見据え、環境に優しく、かつ患者さんにも安心してお使いいただける医薬品の供給ができるように、製品開発の段階から考慮しています。これからもISO14001認証取得企業として、自然環境保護に配慮した企業活動を行っていきます。

ビオトープの設置

「チオビタ[®]・ドリンク」100mLの製造工程では洗浄水(製氷水)と冷却水(水道水と同等以上の水質)が1日に約100トン使用されています。それらは純度が高すぎて自然界に放出するのは好ましくないため、従来は下水処理を行っていました。この水を環境に悪影響を与えることなく再利用できないかと考えた結果、2011年にビオトープを設置しました。これにより、自然を再現した人工水路に水を流し、生物が住みやすい状態にまで水を変え、海に放出することが可能になりました。工場排水のビオトープ活用はおそらく初めての試みで、苦労した点もありましたが、今では、ヌマエビ、サワガニ、シオマネキ、タニシなど、さまざまな生物や植物が繁殖するようになりました。このビオトープは、地元のみなさまに賛成いただいたうえで設置されました。現在、工場の周囲は、ビオトープを見ながらの散歩コースとして親しまれているほか、ホテルの繁殖や、河川や干潟の清掃など、地元の方々と一緒に自然活動を行っています。また、地域の小学生や団体を対象に、ビオトープの見学会も行っています。この試みが、瀬戸内海の豊かな自然を知っていただく機会となり、地域の美しい自然環境を再生する活動につながっていくことを私たちは願っています。



働き方改革

岡山大鵬は巨大な大塚グループの中では、決して大きな会社ではありません。しかし、少数精鋭だからこそ、社員の一人ひとりが輝ける会社でありたいと願っています。

ダイバーシティ推進

岡山大鵬では、女性や外国人など多様な人材が活躍できるようにダイバーシティ経営を推進しています。非正規社員についても工場のラインに積極的に従事していただき、業務の効率化を図るとともに、働き手の「やりがい」を喚起しています。近年は年功序列の企業風土も取り払い、誰もが平等な状況で新しいビジネスのスタートが切れるよう努めています。

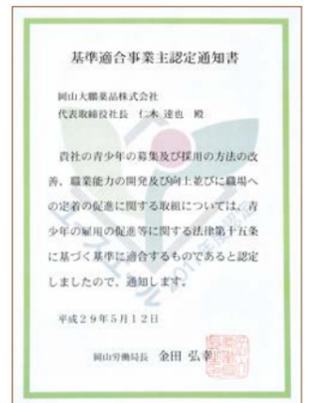
ユースエール認定

2019年には、若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況が優良な企業を対象とした「ユースエール認定」を取得。新しい事業を興すための「起爆剤」となる若手を育成するために、高校生や高専生も積極的に採用しています。残業を減らしたり、有給を取得しやすくするなど、若手にとっては今や当たり前の働き方が全社に定着し、先輩社員を含む社内の意識も変わってきています。

若手社員の声

岡山大鵬で働く魅力とは？

まず、風通しがいいですね。他部署の方ともよく休憩に行きまわすし、話を聞いてもらったりしています。メンター制度もあるので、直接の上司ではない先輩に気になったことや他部署のことなどをざっくばらんに相談することもできます。今は会社の支援を受けながら積極的に資格取得を目指していて、仕事の領域を広げながら、新しいことにもチャレンジしたいと思っています。



大塚ホールディングスについて

岡山大鵬は、大塚ホールディングスの一員として、世界中の人々の健康に役立ちたいと考えています。



大塚グループ企業理念



Otsuka-people creating new products for better health worldwide

世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

概要

大塚グループは、1921年に創業し、世界の人々の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ^{※1} 関連事業」の2本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界30カ国・地域、189社で47,000人^{※2}の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。

※1. ニュートラシューティカルズ: Nutraceuticals=nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)

※2. 2018年12月末現在

グループ構成



岡山大鵬薬品は、大塚薬品工業の子会社です。

大塚ホールディングス株式会社の詳細はこちら <https://www.otsuka.com/jp/>



岡山大鵬薬品 | 会社概要

商号 岡山大鵬薬品株式会社
 事業所(本社・工場) 〒705-8555 岡山県備前市久々井字沖1775-1
 TEL 0869-64-1111(代表) FAX 0869-64-1130
 創立 昭和18年8月26日
 設立 平成4年8月1日
 資本金 5,000万円
 事業内容 医薬品、医薬部外品、医療機器、雑貨等の研究開発及び製造販売